

関東クラブユースサッカー連盟
U-15 Challenge Cup 2025大会要項

- 1・名称 関東クラブユースサッカー連盟 U-15 Challenge Cup 2025
- 2・主催 一般財団法人日本クラブユースサッカー連盟・一般社団法人関東サッカー協会
- 3・主管 関東クラブユースサッカー連盟
- 4・協力 株式会社 モルテン
- 5・期 日 2025年11月15日(土)・16日(日)・22日(土)・24日(祝月)
- 6・会 場 関東各都県会場
- 7・出場チーム DIVISION2:東京(2) 神奈川(2) 埼玉(2) 千葉(2) 茨城(2) 山梨(2)
群馬(2) 栃木(2)
DIVISION3:東京(2) 神奈川(2) 埼玉(2) 千葉(2) 茨城(2) 山梨(2)
群馬(2) 栃木(2)
- 8・出場資格 1) 日本サッカー協会に第3種もしくは準加盟登録し、なお且つ2025年度日本クラブユースサッカー連盟、関東クラブユースサッカー連盟に加盟登録したチームであること。
2) 出場選手は、中学校サッカー部及び他のクラブチームに二重登録されていないこと。
3) 2010年4月2日以降の出生者を対象とする。
4) 出場チームの同一下部組織第4種(日本サッカー協会クラブ申請済みクラブ)登録選手に限り、種別変更(移籍)せず第4種登録所有のままの出場のままの出場を認める。但し、同一下部組織第4種登録チームを複数所有しているチームは複数所有しているチームの選手登用は、いずれかの1チームからに限定するものとする。また、同じクラブ内の同じ年代の女子登録している選手も移籍を行うことなく出場することを認める。
5) 都県予選から関東大会に至るまでに、一つのチームで大会メンバー登録した選手は、異なるチームへ移籍後再び大会メンバー登録することはできない。
6) 原則として高円宮杯関東大会に出場していないチームとする。
- 9・表彰 優勝、準優勝にトロフィーを授与し、優勝から3位まで賞状を授与する。

関東クラブユースサッカー連盟

U-15 Challenge CUP 2025大会競技規則

◆競技方法

- 1・各トーナメント16チームによるノックアウト方式とする。
- 2・ルールは(財)日本サッカー協会発行の最新のサッカー競技規則による。
- 3・試合時間は1回戦から決勝戦までの試合時間は70分とし（インターバルは10分）、競技時間内に勝敗の決まらない場合はPK戦により勝敗を決定する。
- 4・雷等の荒天で試合が中断した場合、その試合が後半25分を経過し中断となり再開不可能となった場合は、その時点での結果を持って試合は成立したものとみなす。（同点の場合は抽選とする）それ以前に中断し再開不可能な場合は、改めて残り時間について試合を行うものとするが、諸事情で残り時間の試合が不可能な場合は抽選で決定する。なお、残り時間の試合を行う場合のメンバーは、中断時の選手とする。
- 5・警告・退場
大会期間中警告を2回受けたものは、次の1試合に出場できない。又、退場・退席を命じられた選手等は、次の1試合に出場できない。違反の内容によっては、それ後の処置について、本大会規律委員会において決定する。なお、警告は、以降の大会には持ち越さないが退場・退席は持ち越すものとする。
- 6・選手登録は30名のエントリーとする。

- 7・選手登録用紙は試合開始70分前に、先発11名に“○”を付けて本部に3部（放送を行う会場では4部）写真付き選手証と一緒に提出する。試合前の整列時に選手証を、用具とともに確認を受けること。電子登録証（写真が登録されたもの）が確認できる場合は出場を認めるものとする。選手証に写真がない場合、若しくは選手証の不携帯の場合は出場できない。

※選手証とは、日本協会WEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したもの。（必ず写真があるもの）

選手登録は試合毎に30名までのエントリーとし、うち9名までの交代を認める。

選手交代は試合中3回とする。なお、当該試合の登録後から試合開始までの時間に、怪我など特別な理由により登録されたメンバーが当該試合へ出場することが不可能であると当該会場の競技責任者が判断した場合のみエントリー内容を変更することができる。スタッフの登録は5名までとしNOを氏名の前につける。

※クラブ申請で、下部組織の選手を出場させる場合は、クラブ申請【回答】を本部に提示すること。

- 8.交代の手続きはサッカー競技規則第3条に則って行う。（交代のすべての機会に交代用紙を使用する。※交代用紙は出場チームで用意するものとする。）

選手交代回数の制限について

- ①選手交代は、交代回数を後半3回までとする。（1回に複数人を交代することは可能）
- ②ハーフタイムでの選手交代は、交代回数に含まれない。

脳震盪による交代（再出場なし）について

- ① 脳振盪またはその疑いのある選手の交代（以下「脳振盪交代」という）は、通常交代に含まれない。
- ② 脳振盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行われなければならない。
- ③ 脳振盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
- ④ 脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1名1回の交代を追加で得ることができる（以下、本号に基づく交代を「追加交代」という）。ただし、追加交代と通常交代を同時に 行った場合、通常交代および追加交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントす

るものとする。

- ⑤ 1 試合における各チームの脳振盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする。

- 9・本大会ではテクニカルエリアを採用する。その都度ただ1名の役員のみがテクニカルエリアから戦術的指示を伝えることが出来る。
- 10・登録したスタッフが退席処分となり、ベンチにスタッフがいない場合は不戦敗とする。
- 11・試合前、試合中にスタッフが1名以上ベンチにいない場合は、不戦敗とする。
- 12・チームベンチは、会場本部席からグラウンドに向かって左側ベンチをトーナメント表の左側に表記されているチームのベンチとし、対戦チームを右側とする。
- 13・登録選手は、必ず全員が傷害保険に加入していること。
- 14・ユニフォームについては以下のとおりとする。
- 1)ユニフォームに表示する広告は、日本サッカー協会『ユニフォーム規程』に則る。
 - 2)ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ソックス）は、正・副の両方を用意すること。
GKはHPと違う色を正・副の両方を用意する。
 - 3)正・副のユニフォームの、シャツ前面・後面には番号を付けなければならない。なお、トランクスに番号がついている場合は、ユニフォームと一致させること。スパッツについてはトランクスと同色のものを使用すること。
- 15・参加料については以下のとおりとする。
大会参加費:20,000円※各DIVISIONともベスト4から追加参加費20,000円
- 16・大会実施委員会内に大会規律・フェアプレー委員会を組織し、委員長は大会実施委員長が兼任
する。大会規律・フェアプレー委員の人選については委員長に一任する。
- 17・参加資格の違反、不都合な行為があった場合の処置については、そのチームの出場を停止する。
- なお、その後の処置について本大会規律委員会にて決定する。
- 18・試合会場では大会役員の指示に従い、サッカー関係者としてのマナーを十分心がける。
- 19・試合開始70分前に、マネージャーズミーティングを開催し、両チームのユニフォームのチェック、要項・諸注意事項等の説明を行う。なお、マネージャーズミーティングには原則として監督が参加することとする。
※マネージャーズミーティングには、必ずユニフォームの正・副2セット用意すること。
- 20・試合球は、大会事務局が参加チームに支給するものを使用するものとする。なお、その試合球は最終試合まで各チームが持参して使用することとする。
- 21・気温の上昇でWBGTの数値から飲水タイムを設ける。
- 22・試合成立は、キックオフ時点に大会エントリー選手の中で、確保できる選手人数を「試合エントリー予定選手数」として設定し、この条件を満たしている場合には、試合を実施する。尚、試合開始時に11名とするが、この条件を満たしていない場合であっても、競技規則上の最低人数を確保されている状況にあって、当該チームが同意すれば試合を実施する。なお、実施できない場合には不戦敗とする。また、選手登録用紙に記載された成人のスタッフが1名以上ベンチに着席していない場合も不戦敗とする。但し、当初割り当てられた運営は行うこと。その後の処置は本連盟にて決定する。
- 23.会場（天然芝）によっては、原則として水以外の持ち込みを禁止する。
- 24.組み合わせは大会事務局で決定する。
メンバー用紙は11月10にまでに事務局に提出すること
- 25.大会事務局

東京都新宿区霞ヶ丘町10番1号 国立競技場内
東京都クラブユースサッカー連盟
鈴木 泰徳
PC: kanto-cy@outlook.com